

## まちづくり座談会～野洲駅南口周辺にほしいもん～

平成24年5月20日(日) 市民活動支援センターホール 10時～12時

| 参加者意見書記入概要                                                                                                                            |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 病院移転先の第一候補として話を進めていただきたい。病院を中心とした複合施設が現実的かと。病院を中心として、介護施設や子育て支援施設等の設置は可能かと思います。                                                       |
| 駅前機能ゾーン(公共的役割)(将来の利用増を見込んだ遊休地の確保)、市の顔(シンボル)の設置、私有地権利交換(機能別土地の集約整理)、私有地(民間)協力※にぎわえば民間も良くなる(共同開発)、土地の利用価値も上がる。                          |
| 駅前には市の「顔」である。白紙に絵を描くのではなく、既存構造物との兼ね合いも含めて機能を考えなければならない。要望を全て満足させることは難しい。最大公約的に集約する中で、長いスパンを考える必要がある。例えば、老朽化した文化ホールのあり方や、駅前に幼稚園が必要か等々。 |
| 人権のまち、福祉のまちとして発達支援センターをまちの中心地となる南口に設置して欲しい。発達障害を持つ当事者、家族が生涯安心して暮らしていける野洲市にしていただけよう、今後継続して支援を求めていける拠点として、今回の計画に是非組み込んでいただけたらと思います。     |
| ①拠点としての都市空間の形成、②土地利用の機能向上が大切。玄関美、にぎわい活動、交通の利便性、国道の連結、景観保全、福祉への配慮、市民活動の拠点化、防災対策が必要。                                                    |
| ①商工観光案内所の設置、②土産物・名産品コーナー・物産店の設置。出来るだけ早くの設置を要望します。                                                                                     |
| 野洲市民だけでなく、他の所から来てもらい、人を集め、活性化させる場所を作ってほしい。                                                                                            |
| 幅広く意見を求めるために、①保・幼・小のPTAにアンケートを出し、意見をもらう、②中学生にアンケートを書いてもらう。又は、クラスで議論をまとめてもらう。みんなでまちづくりに参加してもらう機会にすればと思う。8月のゾーニング(案)提示前の実施を求めます。        |